

取材新聞

発行: R7年9月17日

取材、撮影、編集

卒園した保育園 への職場取材

六年振りの再訪で

緊張

今回僕が取材させていた
だいたのは、約六年前に卒
園した保育園の三和こども
学舎(まなびや)。取材した
先生は、ぼくが年長の時の
担任の先生だ。

保育士の仕事は、零歳〜
五歳の未就学児の生活面の
サポートや教育の手助けを
する仕事だ。

担任の先生が保育士にな
った理由は、子供のころに
保育士に憧れてそのままそ
れが夢になったからだそう
だ。



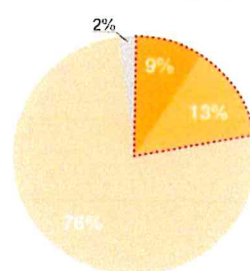
やりがいとは何かと聞いてみ
ると、子供達ができない事
があったときに、それが出
来るようになる所を見て、
子供の成長を実感すること
だと答えた。そして、保育士
で大変な事は聞いてみる
と、大変な事は沢山あるが、
子供達の笑顔が可愛いので
大変と感じたことはない
と言っていた。先生は仕事が
楽しいのだと話してみても
感じた。先生達が普段から気
を付けていることは、子供
達に不安を感じさせないよ
うに明るく優しく振る舞っ



たり、子供達が怪我をしな
いように安全面に気を付け
ながら世話をしていると
言っていた。
同僚の先生からの話だ
と、担任の先生は子供達に
寄り添った働き方をしてい
て、色々な遊びの引き出し
を持っており、子供達と非
常に楽しく接している良い
先生だと話していた。
このように今回は卒業し
た保育園へ、職場取材で訪
問したが、久しぶりに担任



の先生や他の先生達に会う
ことが出来たので、僕にと
っては非常に有意義な職場
取材をすることが出来た。
六年前には先生の思いなど
知らずに毎日過ごしてき
たが、先生の仕事に対する
情熱や優しさを知ることが
できて、改めて感謝の気持
ちがわいてきた。先生のよ
うに夢を仕事にできたい
いなと思った。



● 子供の頃に就きたかった仕事に就いた
● 関連する仕事に就いた
● 子供の頃に就きたかった仕事に就けなかった
● 子供の頃に就きたかった仕事に向けて努力中

このグラフのように子供の
頃夢だった職に就ける人の
割合は、百パーセント中約
九パーセントしか無いこと
から、昔から保育士が夢だ
った担任の先生はこの九パ
ーセントの中に入っている
と知ると、改めて夢を叶え
られている人たちは凄いと
思った。ちなみに、僕の両親
は子供の頃に夢見ていた職
に就くことは出来なかった
そうだ。僕は夢を叶えられ
る大人になるために、早く
自分の夢を見つけられるよ
うに頑張りたい。

コラム

「懐かしの場所です」

この保育園を取材してみ
て分かった事は、保育士は
子供の将来に関わる凄く大
事な仕事だということ、
その子供達を複数同時に世
話が出来る先生達は凄
いのだと改めて知ることが
出来た。今回行った職場取
材では、普段聞くことの出
来ない保育園の先生達の保
育士になった理由や同僚の
人が思っていることを聞く
ことができた。この職場取
材を通じて感じたことは、
普段とまったく違う雰囲気
で取材する事が、思ったよ
りも大変で険しい道のり
であるということ、この職
場取材を終えた時にはまた
少しだけ成長できているの
だと思えた。

宮崎日日新聞

THE MIYANICHI